



平成22年度 予算のあらまし

目次

- 1. 予算規模 1
- 2. 予算の特徴
- 3. 一般会計 2
- 4. 特別会計 3
- 5. 一般会計歳入・歳出構成比
- 6. 一般会計予算の推移 5
- 7. 平成22年度主要事業 7
- 8. 太田市の家計簿
～太田市を一般家庭に例えたら～ 9
～他の“まち”との比較～ 10

太田市総務部財政課

平成 22年度太田市予算

一般会計予算

729億 3,000万円 (前年度比 0.7%増)
総額1,198億9,477万円

1. 予算規模

(単位：千円・%)

会計区分	H22 予算額	H21 予算額	比較
一般会計	72,930,000	72,390,000	0.7
特別会計 (7会計)	33,857,563	32,557,940	4.0
農業共済事業会計	-	276,415	皆減
水道事業会計	6,311,489	9,609,379	▲ 34.3
下水道事業等会計	6,795,718	7,127,290	▲ 4.7
合計	119,894,770	121,961,024	▲ 1.7

※農業共済事業会計については、県農業共済組合への統合に伴い廃止。

2. 予算の特徴

平成22年度当初予算は、新生太田総合計画の目指す都市像である「人と自然にやさしい、笑顔で暮らせるまち太田」の実現に向けて、第4次実施計画を基本に、高度救急医療施設整備事業や学校耐震化事業などの安全・安心なまちづくり事業に取り組むとともに、子ども手当などをはじめとする国・県の新たな施策への対応を念頭においた予算としました。

財源については、大幅な市税収入の減を補うため、財政調整基金からの繰入金、臨時財政対策債の発行等のほか、国・県補助金等の確保にも努めました。

①安全安心事業への重点配分

- ・小中学校施設の耐震化事業の継続実施
- ・高度救急医療施設整備事業 (太田病院移転に伴う救急医療施設の整備)
- ・救急医療対策 (市内指定救急病院に対する運営費補助)

②「市民満足度調査結果」の予算への反映

- ・防犯対策事業及び上記医療対策事業などへの重点配分

③少子化対策等政策課題への取組

- ・第3子以降子育て支援や中高年齢者生きがいづくりの推進

④国・県の新しい施策への対応

- ・子ども手当支給事業、高校の実質無料化への取り組み、緊急雇用創出事業

⑤既存事業の積極的な見直し

- ・市民ゴルフ場の廃止とスポーツ広場整備、バス事業の見直し、愛がん動物火葬施設の廃止
藪塚本町国保診療所の民営化、本庁舎の日曜閉庁による経費節減



3. 一般会計

【歳入】

(単位：千円・%)

区 分	H22 予算額	H21 予算額	比 較
市税	32,322,529	34,723,750	▲ 6.9
地方譲与税	960,000	1,000,000	▲ 4.0
地方消費税交付金	2,170,000	2,060,000	5.3
地方交付税	2,860,000	2,063,100	38.6
国庫支出金	7,871,832	5,649,409	39.3
県支出金	4,967,830	3,911,428	27.0
繰入金	1,792,665	2,672,486	▲ 32.9
うち財政調整基金	1,500,000	2,247,000	▲ 33.2
市債	8,617,800	8,239,800	4.6
うち通常債	5,326,200	5,536,900	▲ 3.8
うち臨時財政対策債	3,291,600	2,702,900	21.8
その他	11,367,344	12,070,027	▲ 5.8
合 計	72,930,000	72,390,000	0.7

※通常債とは、建設事業に充てる地方債を意味します。

【歳出】

(単位：千円・%)

区 分	H22 予算額	H21 予算額	比 較
議会費	504,116	515,230	▲ 2.2
総務費	8,600,948	9,748,791	▲ 11.8
民生費	23,562,731	20,365,103	15.7
衛生費	6,324,457	5,213,420	21.3
労働費	620,323	737,975	▲ 15.9
農林水産業費	1,477,309	1,706,992	▲ 13.5
商工費	4,696,865	5,001,515	▲ 6.1
土木費	5,962,453	7,220,264	▲ 17.4
消防費	3,247,093	3,224,299	0.7
教育費	9,824,670	10,367,037	▲ 5.2
公債費	7,961,956	8,139,189	▲ 2.2
うち通常債元金	5,893,168	6,077,399	▲ 3.0
うち臨時財政対策債元金	774,090	660,883	17.1
その他	147,079	150,185	▲ 2.1
合 計	72,930,000	72,390,000	0.7

4. 特別会計

(単位：千円・%)

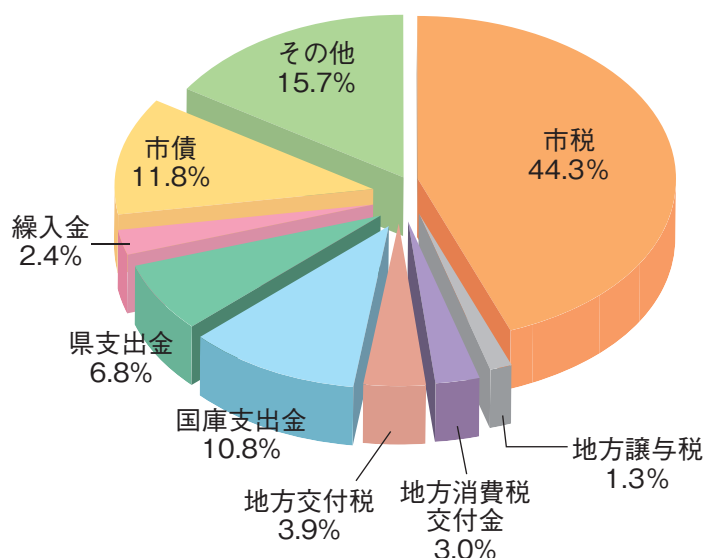
区 分	H22 予算額	H21 予算額	比 較
国民健康保険	21,567,490	20,438,603	5.5
住宅新築資金等貸付	37,680	67,423	▲ 44.1
老人保健	14,607	96,042	▲ 84.8
後期高齢者医療	1,557,764	1,541,706	1.0
八王子山墓園	52,897	67,135	▲ 21.2
介護保険	10,283,932	10,052,439	2.3
藪塚本町介護老人保健施設	343,193	294,592	16.5
合 計	33,857,563	32,557,940	4.0

※ 老人保健特別会計の84.8%減については、老人保健が医療制度改革の一環として、平成20年4月から後期高齢者医療制度に移行したことに伴い、過年度の精算のみとなっており、規模の縮小による減です。

5. 一般会計歳入・歳出構成比

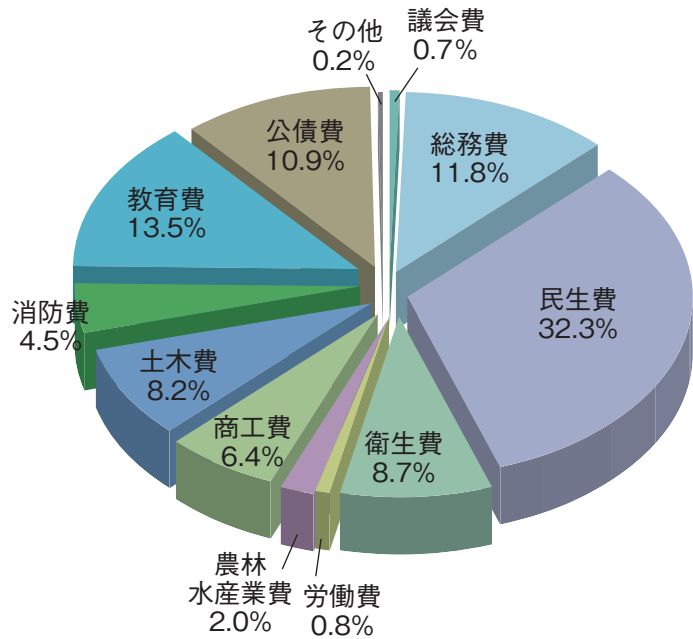
① 歳入

	(千円)
市税	32,322,529
地方譲与税	960,000
地方消費税交付金	2,170,000
地方交付税	2,860,000
国庫支出金	7,871,832
県支出金	4,967,830
繰入金	1,792,665
市債	8,617,800
その他	11,367,344
合 計	72,930,000



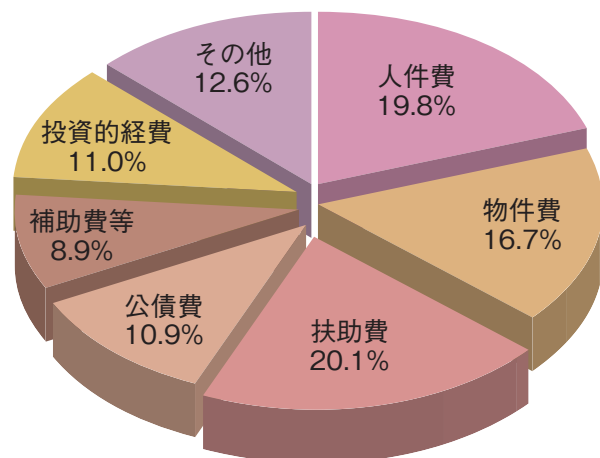
② 歳出 [目的別]

	(千円)
議会費	504,116
総務費	8,600,948
民生費	23,562,731
衛生費	6,324,457
労働費	620,323
農林水産業費	1,477,309
商工費	4,696,865
土木費	5,962,453
消防費	3,247,093
教育費	9,824,670
公債費	7,961,956
その他	147,079
合 計	72,930,000



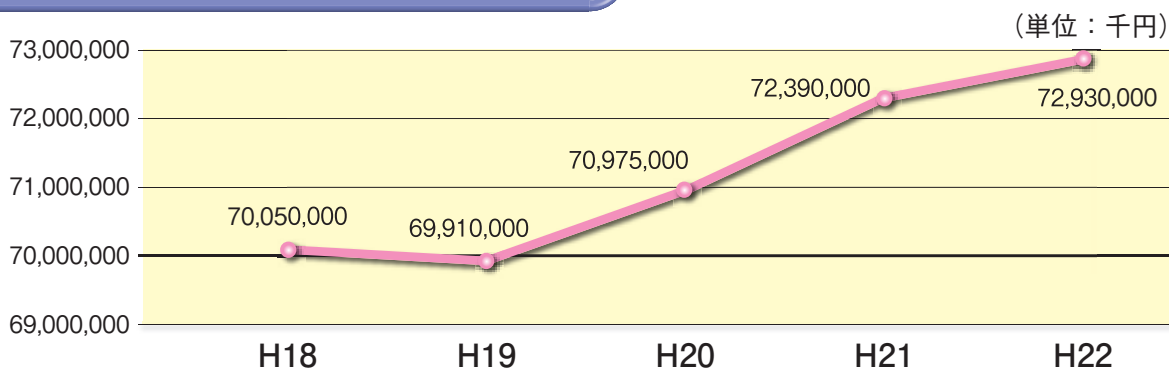
③ 歳出 [性質別]

	(千円)
人件費	14,415,646
物件費	12,146,646
扶助費	14,641,415
公債費	7,961,343
補助費等	6,466,462
投資的経費	8,042,209
その他	9,256,279
合 計	72,930,000

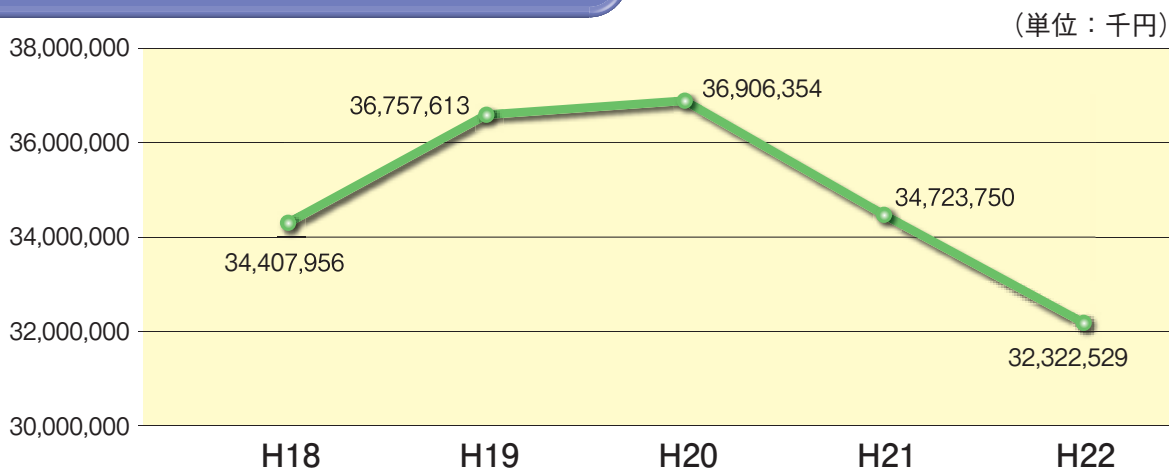


6. 一般会計予算の推移

① 予算額の推移

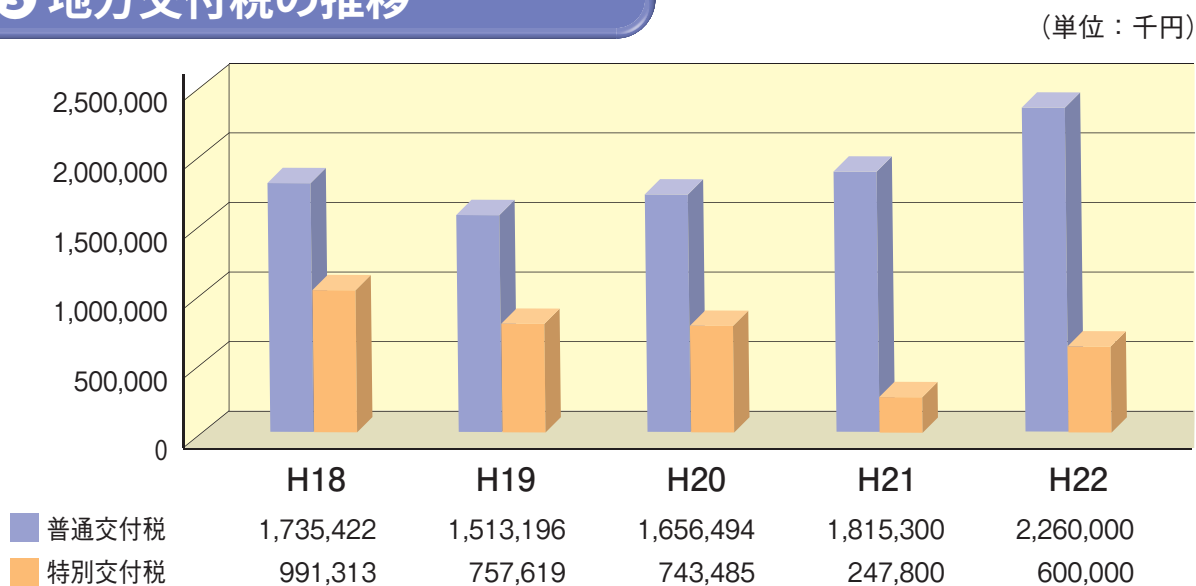


② 市税の推移



※H18年度からH20年度は決算額、H21年度からH22年度は当初予算額

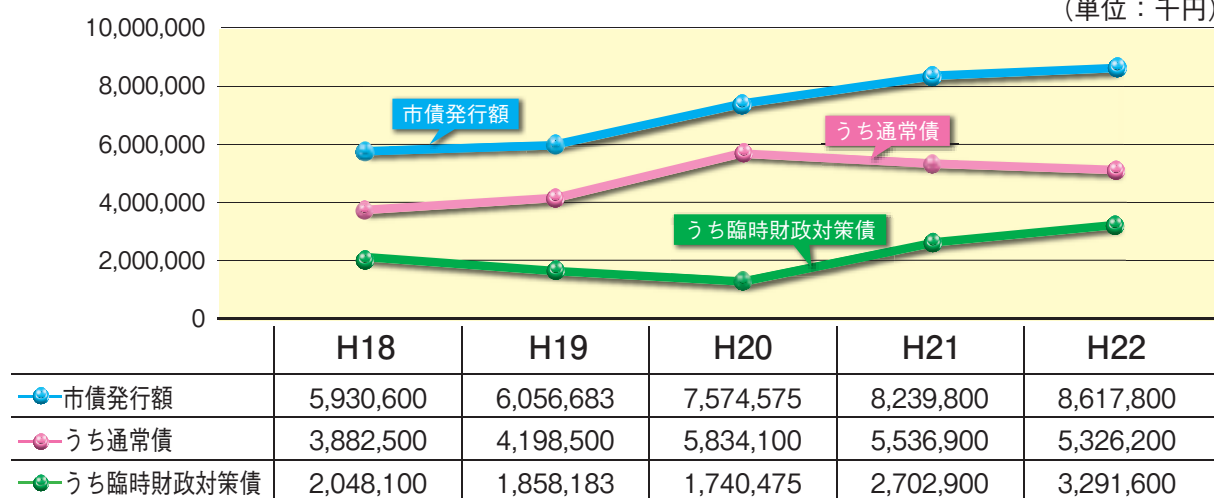
③ 地方交付税の推移



※H18年度からH20年度は決算額、H21年度からH22年度は当初予算額

④ 市債発行額の推移

(単位：千円)



※H18年度からH20年度は決算額、H21年度からH22年度は当初予算額

⑤ 市債現在高等の推移

(単位：千円)

会計年度	一般会計	住宅新築資金等貸付	八王子山墓園	介護老人保健施設	水道事業	下水道事業等会計	土地開発公社長期借入金	合計
H18	76,424,415	294,473	315,935	349,975	21,097,842	33,076,734	4,781,386	136,340,760
H19	75,620,416	228,141	307,200	334,446	20,475,765	33,073,882	4,282,523	134,322,373
H20	76,270,507	177,399	168,465	318,051	20,394,308	33,382,218	3,451,348	134,162,296
H21	80,448,311	141,395	140,980	300,743	20,516,595	33,301,593	2,767,803	137,617,420
H22	82,398,853	109,220	113,375	282,469	20,001,571	33,202,244	2,481,898	138,589,630

※H18年度からH20年度は決算額、H21年度は決算見込額、H22年度は当初予算額

⑥ 財政健全化判断比率の推移

財政健全化判断比率とは、自治体の財政破たんを未然に防ぎ、危険な兆候がある場合には早期、かつ、計画的に健全化を図るための指標として、平成19年度決算から導入されています。太田市はいずれも「財政再生基準（赤信号）」、「早期健全化基準（黄信号）」を下回っており、なおかつ19年度と比べて数値も改善されています。

	平成19年度決算	平成20年度決算	早期健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率	—	—	11.38%	20.0%
②連結実質赤字比率	—	—	16.38%	40.0%
③実質公債費比率	11.5%	10.5%	25.0%	35.0%
④将来負担比率	123.0%	115.7%	350.0%	—

①実質赤字比率 自治体のメインの会計である一般会計等の実質収支の赤字額が標準財政規模（地方税や地方交付税等の使い道の定められていない財源の大きさのことです。）に占める割合を指しています。

②連結実質赤字比率 自治体の全会計（＝企業会計等を含む）の赤字・黒字を合算した結果赤字があった場合に、その額が標準財政規模に占める割合を指しています。

③実質公債費比率 一般会計等が負担する1年あたりの借金返済額（企業会計等＋一部事務組合等の分を含む）が標準財政規模に占める割合を指しており、実質的な借金返済負担の重さを示します。

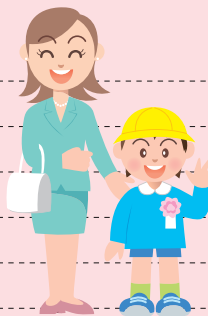
④将来負担比率 一般会計等が将来負担すべき負債（＝企業会計等＋一部事務組合等＋地方公社・第三セクター等の分を含む）が標準財政規模の何倍あるかを指しています。

7. 平成22年度の主要事業

① 教育文化の向上

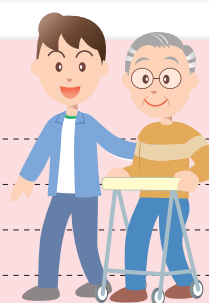
	(単位：千円)
①小学校校舎等増改築事業（耐震補強等）	1,750,090
②小学校給食室改築事業（菰川小、工事費）	120,000
③第3子以降子育て支援事業（保育料無料化等）	202,282
④スクールバス運行事業（委託→直営運行に）	45,578
⑤外国語指導助手設置事業	78,909
⑥教育支援隊事業	114,544

※ ③の事業には、保育料無料化による歳入減免 127,068 千円が含まれています。



② 福祉健康の増進

	(単位：千円)
①子ども手当	4,420,000
②高度救急医療施設建設事業（太田病院移転新築）	1,500,000
③藪塚本町老人福祉センター建設事業（工事費）	105,000
④児童センター建設事業	104,100
⑤民間児童福祉施設整備費補助金（しらかば保育園、中原保育園）	271,174
⑥救急医療対策事業補助金（病院群輪番制運営費等）	294,850



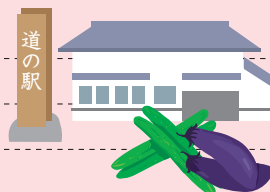
③ 生活環境の整備

	(単位：千円)
①ごみ焼却施設整備事業（清掃センターの大規模更新等）	138,500
②東部消防署建設事業（設計、工事費）	140,907
③道路維持補修事業（補修工事費）	129,192
④太陽光発電システム導入奨励金	20,000
⑤河川新設改良事業（東本町地内調整池工事ほか幹線水路等整備工事費）	320,000
⑥消防団車庫詰所等整備事業（第4分団第1部安良岡町）	26,500



④ 産業経済の振興

	(単位：千円)
①有害鳥獣等対策事業（イノシシ防除）	22,092
②ものづくり研究機構人材育成施設整備事業補助金	22,413
③道の駅建設事業	23,359
④小規模土地改良事業（県補助事業：陳情対応の農道・水路の改修）	25,000
⑤市単独生産基盤整備事業（市単独事業：陳情対応の農道・水路の改修）	20,000
⑥経営安定資金融資貸付金（新規貸付枠 600,000 千円）	1,376,060



⑤ 都市基盤の整備

	(単位：千円)
①八王子丘陵整備事業（歩道整備）	30,000
②スポーツ広場整備事業（市民ゴルフ場改修）	22,508
③デマンドバス運行事業（緊急雇用創出事業）	24,108
④太田駅周辺土地区画整理事業（北口駅前広場周辺道路築造等）	245,519
⑤北関東自動車道側道建設事業（毛里田地区）	107,000
⑥市営住宅建設事業（軽浜団地）	158,694



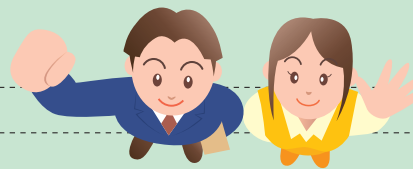
⑥ 行財政の推進

	(単位：千円)
①1%まちづくり事業（地域活動推進委託、地域生活環境整備事業補助金含む）	135,000
②集会所トイレ水洗化改修事業補助金（1%まちづくり事業の一環）	15,000
③土地開発公社経営健全化対策事業（産業振興センター用地他）	630,644
④グリーンニューディール事業（庁舎改修）	29,540



◎見直した主な事業等

	(単位：千円)
	節減額
①藪塚本町国保診療所の民営化	△41,000
②愛がん動物火葬施設の廃止	△1,400
③バス事業の見直し	△97,000
④本庁舎の日曜閉庁	△23,500
⑤子ども手当創設に伴う市単独の子育て支援事業の見直し	△170,000
⑥ごみ、し尿処理関連業務の見直し等	△40,000
⑦人件費（人員減、給与の見直し、機構改革による組織のスリム化）	△1,380,000

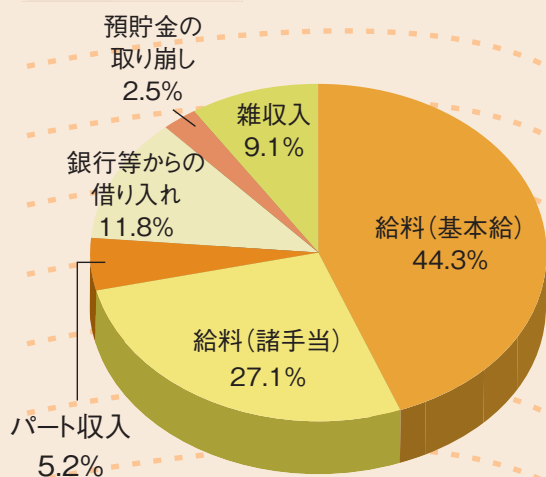


8. 太田市の家計簿 ～太田市を一般家庭に例えたら～

太田市の平成22年度一般会計予算を身近に感じていただけるように、「太田市の家計簿（市民一人あたり）」に例えてお知らせします。

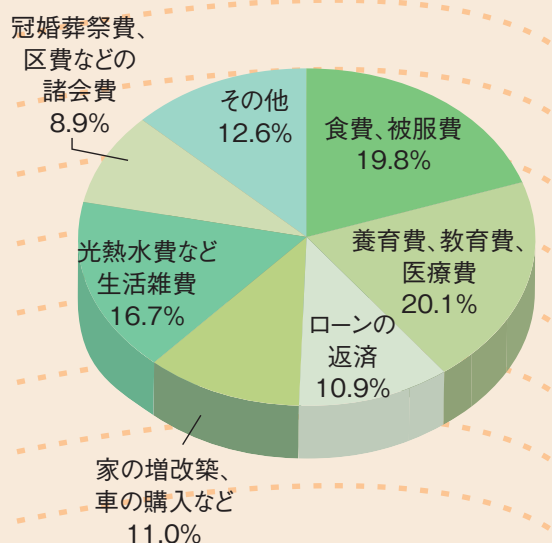
平成22年度当初予算額729億3千万円を人口220,162人（H22.1月末現在）で割ると1ヶ月331,256円の家計でやりくりする家庭に例えることができます。

収入



家計		予算上の名称
項目	金額	
給料(基本給)	146,812円	市税
給料(諸手当)	89,922円	国・県支出金、地方交付税、各種交付金など
パート収入	17,096円	分担金・負担金や使用料・手数料
銀行等からの借り入れ	39,143円	市債
預貯金の取り崩し	8,142円	繰入金
雑収入	30,141円	諸収入など
収入合計	331,256円	

支出



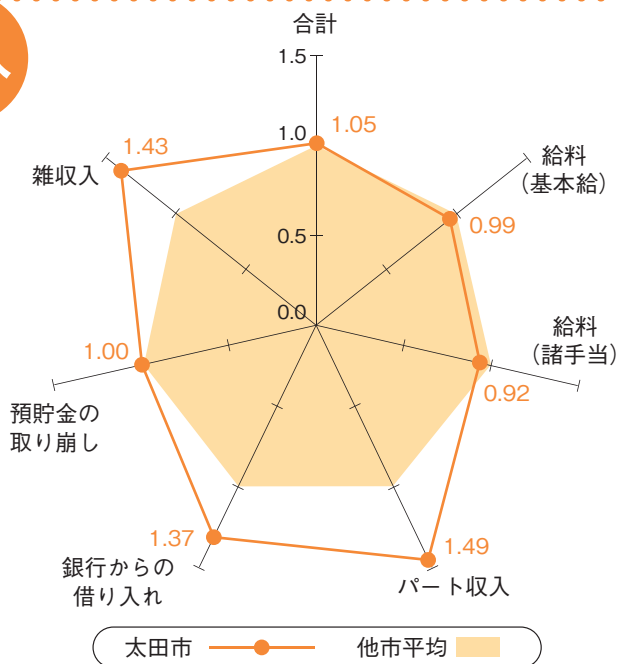
家計		予算上の名称
項目	金額	
食費、被服費	65,478円	人件費
養育費、教育費、医療費	66,503円	扶助費
ローンの返済	36,161円	公債費
家の増改築、車の購入など	36,529円	普通建設事業費
光熱水費など生活雑費	55,171円	物件費
冠婚葬祭費、区費などの諸会費	29,371円	補助費等
その他	42,043円	貸付金、繰出金、維持補修費など
支出合計	331,256円	

～ 他の“まち”との比較 ～

太田市の家計を、家族構成（人口）や職業（産業構造）が似ている全国10市（特例市）の平均値とで比較してみました。

収入支出の各項目とも、市民一人あたり予算額の他市平均値を全て1とし、それに対する太田市の予算額の位置を割合で示しています。

収入



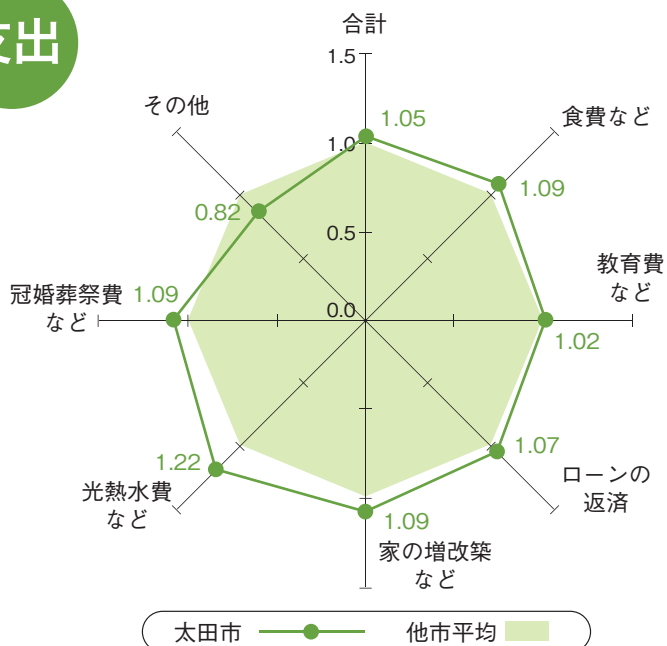
収入の主な特徴

家計の規模で比較すると他市平均は315,875円であり、太田市が15,000円ほど上回っています。

収入の柱である「給料(基本給)」は、太田市とほぼ同一水準ですが、「給料(諸手当)」は、他市が上回っています。この要因のほとんどは、地方交付税の差によるものです。その分、「銀行からの借り入れ」を他市より多めに活用することで、家の増改築などが滞らないように努めています。

なお、「パート収入」において太田市が上回っているのは、他市にはあまり例のない消防事務の委託に係る負担金収入等があることによるものです。

支出



支出の主な特徴

「食費など」、「教育費など」及び「ローンの返済」の3項目の合計である義務的経費が家計に占める割合は他市平均の50.3%（158,911円）に対し、太田市が50.8%（168,482円）でありほぼ同一水準といえます。

一方で「光熱水費など」については、太田市が上回っているため、「食費など」とともに節約（行財政改革）に努めることで、今後とも安定した家計を維持していきます。

なお、「その他」において太田市が下回っているのは、繰出金の占める要素が大きく、他市では公立病院を保有している市があり、その特別会計に対する繰出金が多額になっていることによるものです。

※比較に用いた10市：伊勢崎市（群馬県）・平塚市（神奈川県）・上越市（新潟県）・沼津市（静岡県）・富士市（静岡県）・春日井市（愛知県）・一宮市（愛知県）・四日市市（三重県）・八尾市（大阪府）・加古川市（兵庫県）



この印刷物は、古紙パルプ配合の再生紙と、環境にやさしい大豆油インクを使用しております。

